

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	景観形成事業			事業コード	0794
担当課等	所属名	都市整備部 景観政策推進事務局		担当係名	
	課長名	都市整備部 都市計画課	担当者名	都市整備部 景観政策推進事務局 主査 加藤英樹	電話番号 7218

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	魅力ある都市景観の形成	コード 2
	基本事業	景観形成の誘導	コード 2	関連予算費目名	一般会計 8款 5項 4目 都市景観形成推進事業 (002-01)	
	特記事項	総合計画主要事業, 新市建設計画事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 59年度～)		
事務事業の概要	盛岡市景観計画及び盛岡市景観条例に基づき、建築物等を対象に景観形成指導を行い、盛岡固有の景観を保全するとともに、良好な景観の形成が図られるよう誘導することにより、快適な都市環境を創出することを目的とする。					
根拠法令等	景観法, 盛岡市景観計画, 盛岡市景観条例					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
盛岡市市勢発展総合計画・後期実施計画(昭和55年度～昭和59年度)により「都市全体の美しさと調和という観点に立って、まち全体を美しくデザインし、イメージを高めるため、建築物に対する特別な配慮が望まれる。」として景観対策を市の施策と位置づけた。						
この事務事業に対して関係者(市民, 議会, 事業対象者, 利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
平成23年3月議会において、高層マンションの建設に伴う、明治橋から岩手山眺望への影響についての懸念と、対応状況について質問がなされた。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
盛岡市都市景観形成建築等指導要綱に基づく届出制度から、景観法に基づく届出制度により届出対象範囲が広がり、届け出件数が約3倍に増加した。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 建築等の行為者	単位	人
			B. 概ね中学生以上の市民	単位	人
			C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 景観計画区域内行為届出件数	単位	件
			B. 都市景観シンポジウム及び受賞写真パネル展の来場者数	単位	人
			C. 都市景観賞の応募者数	単位	人
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 景観計画を理解・同意し、指導を受け入れ建築等をされた割合(建築等にあたり勧告をされなかった件数/届出件数) 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	%
			B. 都市景観シンポジウム及び受賞写真パネル展の来場者数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	人
			C. 都市景観賞の応募者数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	人
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	景観地区並びに準景観地区の指定件数(累計)(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	建築等の行為者	人	1389	1315	1315	1396	1400	1400	26年度 1400
対象 指標B	概ね中学生以上の市民	人	260957	260527	260527	260947	260947	260947	26年度 260947
対象 指標C									年度
活動 指標A	景観計画区域内行為届出件数	件	379	701	1402	1387	1387	1387	26年度 1387
活動 指標B	都市景観シンポジウム及び受賞写真パネル展の来場者数	人	7650	3064	3220	3720	3720	3720	26年度 3910
活動 指標C	都市景観賞の応募者数	人	31	31	33	33	34	35	26年度 40
成果 指標A	景観計画を理解・同意し、指導を受け入れ建築等をされた割合 (建築等にあたり勧告をされなかった件数/届出件数)	%	100	100	100	99	100	100	26年度 100
成果 指標B	都市景観シンポジウム及び受賞写真パネル展の来場者数	人	7650	3064	3220	3720	3720	3720	26年度 3910
成果 指標C	都市景観賞の応募者数	人	31	31	33	33	34	35	26年度 40

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,729	2,001	2,100	2,100	140,784		*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,729	2,001	2,100	2,100	140,784	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,729	2,001	2,100	2,100	140,784		*****
	延べ業務時間数	時間	8,000	8,000	12,000	12,000	15,000		*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	32,000	32,000	48,000	48,000	60,000	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	33,729	34,001	50,100	50,100	200,784	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 市民及び事業者が、盛岡の地域特性に調和した景観形成の行為等に配慮し行為等に配慮し景観への意識を高めることで、快適な住環境の形成が図られる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 良好な景観は公共性があり、市民がその恵沢を享受することにより生活環境が向上するため、良好な景観形成への指導・誘導は市が積極的に関与すべき事業である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 景観形成において、周辺の景観に影響の大きい、建築物や工作物の建設等の行為を行う際に、景観に配慮するよう指導することは効果できであり、対象として妥当である。また、景観形成の啓発活動の対象者は低年齢層を除く市民が妥当と考えられる。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 住環境への影響の度合いや、効果の実績等から適当なものであり、絞り込みは必要ない。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: より積極的に市民周知を行うことにより、成果はさらに向上する余地がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 事業の廃止・休止により、良好な景観形成への市民の意識低下が懸念され、これまで積み重ねてきた成果が損なわれる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 花と緑のまちづくり(公園みどり課)、地区計画(都市計画課)、建築協定(建築指導課) ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 建築物の建築等を行う際に緑化や形態意匠に関し一定の義務を課すことにより、住環境の向上を目的とした他事業に実効性を持たせることなどで連携できる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 都市景観シンポジウムや都市景観賞は、毎年開催することで市民の景観に関する意識の向上を継続的に啓発することとしており、最小限の予算措置で適切な効果を得ていることからこれ以上の削減の余地はない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 平成21年度より届出対象が拡大し、これまでの約4倍の審査処理件数となるため人員の削減の余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 新たに、景観法に基づく景観地区をの指定をすすめることにより、盛岡市景観計画の拡充を行い、市民の景観への関心と理解を拡げる。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 問題点は特になし。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>建築物・工作物の建設等の行為の届出の審査を適正に行った。 事業者等への景観形成のPRや促進のため、都市景観賞の表彰、都市景観シンポジウム、都市景観賞受賞写真パネル展を開催しているが、近年は来場者数が減少していることから、工夫が必要と思われる。 景観計画で位置づけている景観形成促進地区について、大慈寺地区においては、景観形成の合意形成に向け、地元住民と話し合いを続けてきているが、他の促進地区は、未だ着手にいたっていない。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>都市景観シンポジウム等のPRイベントでは集客の工夫を行う。また、未だ着手していない景観形成促進地区での地元住民との合意形成に向け、取り組みを行う。</p>												